

SDS 安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	突き刺し形pH計 SPH70 附属 pH標準液 pH6.86
製品コード	4-360-01 附属品
供給者の会社名称	アズワン株式会社
住所	大阪市西区江戸堀2丁目1-27
担当部門	品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号	06-6447-8614
FAX番号	06-6447-8664
使用上の制限	分析・試験用 試薬

2. 危険有害性の要約

2-1) GHS分類区分

分類できない

上記で記載がない危険有害性は分類対象外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告

飲み込むと有害、皮膚刺激、眼刺激

安全対策

応急措置

飲み込んだ場合や気分が悪い時は医師に連絡すること。
必要に応じ保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
皮膚等に付着した場合、直ちに皮膚を流水で洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪い時は医師に連絡し手当てを受けること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性 データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	CAS	官報公示整理番号	
				化審法番号	安衛法番号
調整試薬他 非開示	<2%	-	-	-	既存化学物質
水	>98%	H2O	7732-18-5	-	-

上記濃度又は濃度範囲は、規格値ではない。

上記濃度又は濃度範囲に記載の%は、個別表記があるものを除き、全て質量%。

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。

眼に入った場合

皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置	適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性 特有の消火方法	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 強い水流は使用しない。 火災時に刺激性もしくは有毒なフュームまたはガスを発生する。 着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、冷却する。 消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱性)を着用する。
	消火時の保護具及び予防措置	
6. 漏出時の措置	人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 二次災害の防止策	作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。 下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。 漏出は、吸収剤を使用してできるだけ素早く回収する。できるだけ液体漏出物は密閉容器に回収する。回収跡は多量の水で洗い流す。 情報なし
7. 取扱い及び保管上の注意	取扱い 保管 技術的対策 安全取扱注意事項 接触回避 安全な保管条件 安全な容器包装材料 技術的対策 保管温度	吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にこの製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗いうがいをすること。作業所の十分な換気を確保する。接触、吸入又は飲み込まないこと。長時間または反復の暴露を避ける。 直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。 気密容器。 適用法令を遵守する。 冷暗所保管
8. ばく露防止及び保護措置	関知濃度 許容濃度 保護具 皮膚及び身体の保護具 呼吸用保護具 眼、顔面の保護具 手の保護具	情報なし 情報なし 不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、保護長靴 保護マスク 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル) 不浸透性保護手袋
9. 物理的及び化学的性質	物理状態 形状 色 臭い 融点／凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度 n-オクタノール／水分配係数 蒸気圧 密度 相対ガス密度 粒子特性	液体 液体 無色透明 無臭 データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし 6.86 (25°C) データなし データなし データなし データなし 1.00 g/cm ³ (20°C) データなし データなし

10. 安定性及び反応性		
反応性		データなし
化学的安定性		法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられ
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		日光、熱との接触。
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性		情報なし
皮膚腐食性／刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		情報なし
呼吸器感作性		情報なし
皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性		情報なし
吸引性呼吸器有害性		情報なし
誤えん有害性		情報なし
12. 環境影響情報		
生態毒性		該当しない
オゾン層への有害性		該当しない
13. 廃棄上の注意		
化学品(残余廃棄物)		都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。
汚染容器及び包装		容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する必要がある。
14. 輸送上の注意		
国際規制		非該当
航空輸送(IATA)		非該当
海洋汚染物質		非該当
国内規制	海上規制情報	非該当
	航空規制情報	非該当
特別な輸送上の注意		運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。
15. 適用法令		
	労働安全衛生法	非該当
	毒物及び劇物取締法	非該当
	水質汚濁防止法	非該当
	消防法	非該当
	大気汚染防止法	非該当
	水道法	非該当
	下水道法	非該当
	化学物質排出把握管理推進法(PRTR法)□	非該当
	土壌汚染対策法	非該当
16. その他の情報		
引用文献		17221の化学商品(化学工業日報社) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) ERG2016版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)

記載内容は現時点で入手出来た資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願いします。